

～大容量グローバルネットワーク利用超高精細コンテンツ分散流通技術の研究開発～

委託先：三菱電機(株)

研究代表者：三菱電機(株) 村上 篤道

研究期間：平成14年10月～平成18年3月

主な研究実施場所：神奈川県鎌倉市

研究成果：本研究課題においては、高品位デジタルコンテンツに対して、コンテンツホルダーの権利を保護しつつ、ネットワーク流通を活発化させることを目的とし、コンテンツの生成、流通、検索に係わる技術を開発した。超高精細コンテンツデジタル化技術では複数枚撮影した画像の合成や、グリッドパターン、色パターンを撮影し、それらのパターンからの補正値をコンテンツの撮影画像に対して随時フィードバックをかけて補正する方式や質感表現三次元データ生成処理技術を開発し、ワンソースマルチユース対応コンテンツ蓄積管理技術ではコンテンツの階層的な蓄積方式、各種編集・変換処理に対して耐性を持つ電子透かし、分散環境著作権管理方式を開発し、状況適応型コンテンツナビゲーション技術ではユーザとのインタラクションによる検索・ブラウジング技術、キーワードと画像特徴のマッピングによるコンテンツ

主導型ナビゲーション技術を開発した。さらに、実際にギガビットネットワークを介して実運用に近い構成での実証実験を行ない、有効性を確認した。

これらの技術は、文化財など価値のあるコンテンツのデジタル化、コンテンツのユーザフレンドリーな検索・ブラウジング、コンテンツ配信における分散データベースの統一的な管理や著作権管理分野での活用が見込まれる。

研究成果説明図：

